

### (5) ハクセンシオマネキ観察会

- 実施日：2015年7月18日（日）13～15時
- 参加人数：12名（大阪市立築港中学校9名を含む）
- NPOスタッフ：3名

南港野鳥園の干潟には、干潟を代表するカニのハクセンシオマネキが棲んでいます。巣穴から出てきた彼らの生活の様子をスコープで観察しました。ハサミを振る行動（ウェービング）を参加者全員が見ることができた。

### (6) シギ・チドリ類観察会

- 実施日：2015年8月29日（土） 10時～13時30分
- 参加人数：21名
- NPOスタッフ：7名（展望塔での参加者募集、当日受付、アンケート：港湾局）

観察会の目的・見てほしい渡り鳥・野鳥園の環境を開始前に説明し、野鳥ガイドメンバーを紹介したのちに、班分けして観察会を開始した。この日は、シギ・チドリ類が8種見られ、コチドリ、トウネン、アオアシシギ、アカアシシギなどをじっくりと観察してもらった。なかなか見分けが難しいシギ・チドリ類について、基本のことをわかりやすく説明するように心がけた。

### (7) アカテガニ観察会

- 実施日：2015年8月29日（土） 18時～
- 参加人数：13名
- NPOスタッフ：5名（受付とアンケート：港湾局）

アカテガニが夏の夜に野鳥園内の林から出てきて、池で放仔する行動を観察する。まずは、林から出てきているアカテガニの集団を観察した。こんなにも多くのアカテガニが棲んでいることに参加者の皆さんからは驚きの声があがる。その後、展望塔下の湿地に移動し、アカテガニの放仔を待つ。この日は、残念ながらあまり多くの放仔が見られなかったが夏の夜の不思議な世界に皆さんは感動されていた。会議室に戻ってから、少し詳しい解説をして終了とした。

### (8) 鳥類学講座

- 日本野鳥の会大阪支部、野鳥の会ひょうご、NPO法人バードレスキュー協会と共催で実施した。
- 実施日：2015年10月17日（土） 13時～17時
- 参加人数：40名
- 内容：コアジサシの住宅事情（講師：バードリサーチ 奴賀俊光）

コアジサシは日本に繁殖のために渡来する夏鳥で、海岸の砂浜や、河川敷、造成地などの裸地に集団営巣する。しかし、工事やレジャー等の人為的影響による営巣環境の悪化から個体数が減少し、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。講座では、千葉県太平洋岸でのコアジサシコロニーの変遷と個体数変動を例に、コアジサシの現状が紹介された。また、NPO 法人リトルターン・プロジェクトが実施している東京都大田区森ヶ崎水再生センター屋上でのコアジサシ人工営巣地の整備とその成果も紹介された。

野鳥園の向かいにある北港南地区埋立地はかつて多数のコアジサシの繁殖コロニーがありその調査を行った NPO 法人南港ウェットランドグループの結果については資料を配布して報告した。

### (9) 夜のカモ類かんさつ会

- 実施日：2016年1月23日（土） 18時～20時
- 参加人数：21名
- NPO スタッフ：4名（受付とアンケート：港湾局）

日が暮れてから野鳥園で餌をとるために飛来するカモ類を見るために観察会を行ったが、今年はオオタカが冬の間ほとんど顔を見せなかったため、昼間からかなりの種類のカモ類が安心して餌をとり、ツクシガモも多く見られた。そのせいか、例年のように日が暮れてから、どんと池に飛来するカモ類は少なかった。しかし、夕暮れ時までに多くのカモを見ることができたので、参加者は満足しておられた。

### (10) 探鳥会

- 日本野鳥の会大阪支部の南港野鳥園定例探鳥会と連携し、野鳥観察ガイドを行った。
- 実施日：1月のカモ類観察会を除く、2015年4月～2016年3月の第4日曜日
- 野鳥の会大阪支部のリーダー：2～4名

探鳥会は10時～12時までなので、探鳥会が始まる前に現在の野鳥の飛来状況などを、大阪支部のリーダーに説明し、探鳥会終了後も野鳥ガイドを実施した。

### (ウ) 干潟・湿地の清掃及び除草

#### (1) 市民参加での湿地および観察路などのごみの回収と除去作業

- 1回目：2015年5月23日（土）10時～
- 参加人数：200名
- 作業指導・監視スタッフ：6名

情報労連大阪地区協議会と NTT 労組大阪グループ連絡会（協賛：電通共済生協）の参加者が 5 班に分かれて、2 時間にわたって湿地での漂着ごみ回収を行った。回収した漂着ごみは 70L のごみ袋 190 個となった。5 月はシギ・チドリ類の渡りの時期であるため作業時間を短くして実施していただいた。



- 2回目：2015年10月31日（土）10時～
- 参加人数：30名
- 作業指導・監視スタッフ：4名

大阪ガス労働組合の参加者が 3 班に分かれ、正門から駐車場周辺、正門から南門、南観察所への観察路のごみ（不法投棄ごみを含む）などを収集し、収集ごみは 50 袋となった。作業後には、大阪湾岸での渡り鳥にとっての野鳥園の役割、野鳥園の歴史と現状などを紹介し、野鳥の観察もおこなった。

## (2) 池周辺のヨシ刈り、水鳥とくにシギ・チドリ類の休み場作り、およびゴミ収集

- 1回目：2015年6月27日
- 【ゴミ収集】
- 作業人数：1名
- 作業内容：西池でのゴミ収集
- 2回目：2015年7月12日（日）9時～12時

### 【休み場作り】

作業人数：7名（港湾局2名を含む）

作業内容：南池のシギ・チドリ類の休み場作り

秋のシギ・チドリ類の本格的な渡りがはじまる前に、南池のシギ・チドリ類の休み場を新たにつくる作業を行った。のちに、この休み場は多くのシギ・チドリ類が利用するようになった。休み場作りの後、機械によるヨシ刈りを1名が実施。

### 【ヨシ刈り】

作業人数：1名

作業内容：西池の機械でのヨシ刈り

- 3回目：2016年3月6日（日）9時～14時

### 【休み場作り】

作業人数：11名（市民ボランティア5名を含む）

作業内容：南池のシギ・チドリ類の休み場作り

【ヨシ刈り】

作業人数：11名（市民ボランティア5名を含む）

作業内容：南池ヨシ原内の漂着ごみ収集

南池と西池のヨシ刈り、ヨシ原内の漂着ごみ収集、シギ・チドリ類や水鳥のための新たな休み場作り（南池に2ヵ所）を行った。

➤ 4回目：2016年3月12日（土）9時～12時

【ごみ収集等】

作業人数：2名

作業内容：南観察所前の湿地のごみ収集と低木剪定

➤ 5回目：2016年3月15日（火）9時～12時

【ヨシ刈り】

作業人数：2名

作業内容：西池のヨシ刈り

西池のヨシ刈りを3月6日に引き続いて実施した。

(エ) 広報・啓発

(1) 野鳥園のホームページの更新

最新の野鳥飛来状況（種類と個体数）の提供、トピックとなる野鳥写真の紹介、野鳥ガイド実施日、各種観察会実施日、展望塔前での植栽や除草時期などの作業日の告知などを行った。

(2) 野鳥識別用のポスターの作成と掲示

野鳥園に飛来する小鳥類、サギ類、シギ・チドリ類、猛禽類、カモ類をわかりやすく説明した小型のイラストポスターを展望塔の机に随時掲示した。また、壁面には野鳥園での生きものと水鳥のつながりを示した「南港野鳥園は水鳥のレストラン」というポスターを掲示した。



(3) 事業用の資料作成

野鳥ガイド養成講座、各種観察会の参加者募集用のポスターやちらしの作成。これらの行事参加者用の資料の作成。

#### (4) ブログからの情報提供

新たな取組みとして、2016年2月からホームページにブログを開設し、野鳥のことや環境のことなど様々な話題提供を行っている。コメント機能を付したことで利用との相互コミュニケーションが期待できる。

### (オ) トータルコーディネーター：事業の企画・設計／事業全体の調整・管理・指示

#### (1) 総括系業務

##### ・事業計画書および事業報告書の作成：

前月の事業報告と翌月の事業計画を毎月のNPO理事会で整理し、中間と年度末には中間報告書と本年度の事業報告書と翌年の事業計画書を作成した。

##### ・アドバイザーボードでの報告：年2回

2015年5月21日（平成26年度の事業報告と平成27年度の事業計画と目標設定）／2015年12月22日（平成27年度の事業中間報告と目標設定の達成度報告）

#### (2) 調整系業務

・港湾局との定例会議：毎月1回、原則として月はじめに実施し、前月の事業報告と翌月以降の事業予定を連絡した。

・現地での業者への指示：港湾局担当者や業者（除草、植栽剪定）とともに、現場でどのような方法でどの時期にどのエリアの除草や植栽剪定をするかなどについて、現場で指示あるいは協議した。

・湿地再生プロジェクトチームの会議：大阪市立大学、大阪市港湾局、NPO法人南港ウェットランドグループが参加し、南港野鳥園の湿地が抱える課題について年2回の現状報告と意見交換を実施した（2015年9月15日、2016年3月26日）。

今年度は、市大の実施している調査結果と今後の計画、NPOが実施している干潟の生きもの調査と干潟現況調査での課題をもとに、今後の野鳥園湿地の問題点解決のための方策を検討した。とくに今後は、南池の干出面積拡大策、南池の藻類対策北池や南池で生きものが少ないエリアの改善策などについて具体策を検討していく。

#### (3) 各事業の設計業務（事業企画、日程、内容など）

トータルコーディネーターは、その経験と専門知識に基づいて、環境調査、環境学習（野鳥ガイド、観察会）、広報・啓発などについて、適切な人材を配置し、観察や調査に適切な日程を毎月のNPO理事会で設定した。

また、トータルコーディネイターは、環境調査方法（鳥類、底生生物、干潟の現況）の設計・管理・指示、環境学習の企画と進め方、調査データの入力方法、調査結果の報告内容などを協議し決定した。さらに、各事業の実施経過を見ながら、事業で改善すべき点を検討し、事業全体を通して野鳥園の湿地機能を維持し、市民利用施設としての役割が発揮できるようにした。

#### (4) その他

トータルコーディネイター若手 2 名を育成し、環境調査や湿地の手入れに関する設計や企画などを行った。

大分県の中津干潟（国内で 3 本の指に入るシギ・チドリ類の大規模渡来地）の地元 NPO や大学との年 3 回の交流（シギ・チドリ類の調査協力、情報交換など）を前年度に引き続いて実施し、人材の活性化につなげてきた。

#### (カ) 検討中の事業の結果報告

##### (1) 観察会情報の提供方法

今年度は、シギ・チドリの観察会でポスターやチラシを作成し、地下鉄の駅や展望塔内に掲示・配置した。結果としてはあまり効果がなかったため、効果的な広報方法について検討する必要がある。

##### (2) 教員対象の環境学習会

夏場のヨコエビ類定量調査やハクセンシオマネキ観察会に、大阪市港区の築港中学校の理科クラブの生徒および教員が参加し、現地での観察、サンプリング、室内（野鳥園会議室）での小さな生きもの仕分け作業に参加した。ヨコエビ類定量調査の結果は 2015 年 10 月 11 日（日）の海遊館 25 周年記念シンポジウムで発表された。

今年度は、近隣の学校の学生や教員と連携して野鳥園を環境学習の場に活用することができた。次年度以降に実施を検討する。

##### (3) 企業と連携した催事の取り組み

今年度は実施できなかった。カメラ撮影とプロの野鳥カメラマンの講習、アウトドア関連企業との野鳥観察に関連した催事を今後も検討の予定である。

#### (キ) その他

##### (1) 消防訓練

- 展望塔の避難出口、トイレ、消火器設置場所、通報内容、火災報知設備、緊急連絡体制などの確認
- 実施日：2016 年 3 月 24 日（金）14 時～15 時（港湾局 4 名、NPO2 名）

##### (2) 展望塔の清掃

- 野鳥ガイドや観察会などの環境学習の事業を実施するにあたり、展望塔の窓ガラス、床、机などの清掃は随時実施した。
- 展望塔の大掃除（床掃除、机拭きなど）は、2015年12月27日（日）に港湾局3名、NPO法人4名で実施した。

(ク) 収支状況

- (1) 事業委託予算（H27年4月1日～H28年3月31日）：3,974,400円（税込）
- (2) 事業支出合計（各事業費、トータルコーディネート費、管理費など）：3,678,135円（税込）

添付資料1 平成27年度事業実施内容の概要

種別	実施内容	契約書での規定	事業計画書での規定内容	実施回数	備考
環境調査	鳥類調査	春4回(4日)、 秋4回(4日)、 冬2回(2日)	夏(6~7月)と11月を除いて毎月実施	23回(4・5月:月4回、8・9月:月4回、10月:2回、12~2月:月1回、3月:2回)	シギ・チドリ類が渡来しはじめる3月、および春と秋の渡来最盛期の調査回数を増やした。
	底生生物調査	春1回(2日) 夏1回(2日)	2回(7月と3月)	4回(7/11、7/15、8/12、2/24)	7/11はヨコエビ類定量調査 8/12は7/15の補足調査
	干潟現況調査	春又は夏に1回	2回(7月と3月)	2回(7/15、2/24)	底生生物調査と同日に実施・導水管の状況も調査
干潟・湿地の清掃および除草	漂着ごみ回収 休み場づくり	半期に各1回	2回(5月と11月)	ごみ回収:5回(5/23、6/27、10/31、3/6、3/12) / 休み場:2回(7/12、3/6)	5月は200名、6月は30名、10月は30名、3月は11名
	ヨシ刈り	—	随時	3回(7/12、3/6、3/15)	春と秋のシギ・チドリ類の飛来前に実施
環境学習	野鳥ガイド	4月から5月まで及び8月から10月までの日曜日のうち20日、及び越冬期(12月から3月までの日曜日)のうち16日実施すること。 展望塔内で、野鳥の観察指導、学習会、及び探鳥会などを実施すること	春と秋に月4回、夏と冬に月2~3回(計36回)	36回(4,5,8,9,10月:各4回、6,7,12,1,2月:各2回,11,3月:各3回)	野鳥の飛来が多い春と秋にガイドの回数を増やした
	野鳥・干潟の生きものの観察会		はじめての野鳥ウォッチ	5月9日(土)	バードウォッチングをはじめたい方対象
			ヨコエビ類を調べる	7月11日(土)	シギ・チドリの餌であるヨコエビ類の数を調べる
			ハクセンシオマネキ観察会	7月18日(日)	干潟を代表するカニの生態をかんさつ
			シギ・チドリ類観察会	8月29日(土)	繁殖を終え、数千から1万キロの旅に立ち寄ったシギ・チドリ類を観察する
			アカテガニ観察会	8月29日(土)	夏の夜、園内の林から出てきて池でお腹を振って放仔するアカテガニの不思議な生態をみる
			冬の夜のカモ類観察会	1月23日(土)	夕方に戻ってくるカモ類を観察する
	学習会	野鳥の会大阪支部の南港定例探鳥会との連携	毎月第4日曜日	同日に、一般来園者に野鳥のガイドをする	
		野鳥ガイド養成講座	4月19日(第2回) 4月25日(第3回)	17名の野鳥ガイドが誕生	
		体験型環境保全プログラム(シギチ類休み場作り)	3月6日(日)	7月12日に作った休み場の補修を兼ねて、新たな休み場作りを市民ボランティア参加で実施した	
			鳥類学講座	10月17日	コアジサシの住宅事情
広報・啓発など	野鳥園HP更新	・最新の野鳥飛来状況・野鳥ガイド実施日の告知/各種観察会実施日の告知・申し込み ・野鳥園の環境保全のための作業実施日の告知と報告		アクセス数は多い	
	展望塔内掲示物	季節毎の鳥類の識別の仕方、干潟の生きもの、野鳥園の環境のこと、渡りのことなどを随時掲示更新、ホワイトボードへの野鳥情報記入と写真貼付		ホワイトボードへの野鳥情報は、来園者の書き込み協力も多く好評。	
	ブログ作成	野鳥園のホームページにブログを作成し、様々な最新情報を掲載		2016年2月より開設	



添付資料2 シギ・チドリ類の渡来状況（モニ1000シギ・チドリ類調査）2015年度春期

番号	種和名	学名	調査実施日(春季渡り期:平成25年4月～5月)																			最大渡来数 (Max値)			
			4/5	4/7	4/10	4/14	4/17	4/23	4/24	4/26	4/28	4/30	5/1	5/3	5/5	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/22		5/23	5/25	
1	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>					2					1	2	1				2					2		
2	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>									1												1		
3	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	3	1	2	2	1	2	3	2	1	2	1	2		1	1	3	2	2	2	1	1	3	
4	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	30	52	26	5	11	12	8	2	2	4	2	6	27	4	4	4	13	6	11	10		52	
5	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>					8	6	9	4	6	6	11	6	8	3	1	1			1	1		11	
6	オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>						1					1					1						1	
7	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>						1	1															1	
8	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>						1			2	1	1	1	1									2	
9	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>					1	6	6	23	9	14	15	6	12	4	6	6	3	6	4	3		23	
10	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	6																					6	
11	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>									1													1	
12	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>									1					1	1	1	1	1				1	
13	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>				1	1	3	2	1	2						2	2	2	3	3	3	2	3	
14	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>										3	6	11	26	33	43	42	52	63	49	68	68	31	68
15	ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>						1		1	1		1			1	2	2	2	1	5	1		5	
16	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>			1								1											1	
17	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>						1													1			1	
18	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	1	1												4	4	4	4	4	4	1	3	2	4
19	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>		1	1	3	6	5			2	8	13	50	85	89	106	128	143	181	140	164	9	181	
20	アメリカウズラシギ	<i>Calidris melanotos</i>																			1			1	
21	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>						1													1		4	4	
22	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>															1							1	
23	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	6	2	19	1	4	3						1	8	7	1	12	4	15	8			19	
計23種		合計種数	46	57	49	12	35	42	29	33	30	42	59	107	174	151	182	207	251	264	235	258	45	389	
		合計渡来数	5	5	5	5	9	12	6	6	11	8	12	9	8	10	12	11	12	13	9	10	5	23	



添付資料 4 2015 年度に南港野鳥園で観察した全鳥種リストおよび重要種の選定基準

番号	目名	科名	種和名	学名 (網かけは湿地で見られた種)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	重要種の選定基準			
																	保存法	環境省RDB	大阪府RL	
1	キジ目	キジ科	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>							●									
2	カモ目	カモ科	ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>									●	●	●	●		VU		
3			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>													●		DD	
4			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	●								●	●	●	●	●			
5			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>									●							
6			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	●								●	●	●	●	●			
7			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	●				●				●	●	●	●	●			
8			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
9			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	●								●	●	●	●	●			
10			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	●								●	●	●	●	●			
11			コガモ	<i>Anas crecca</i>	●								●	●	●	●	●			
12			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	●								●	●	●	●	●			
13			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>									●	●	●	●				
14			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>										●						
15			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>											●	●	●			
16			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>											●					NT
17			カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●			
18	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>												●						
19	ハト目	ハト科	ドバト	<i>Columba livia var. domesticus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
20			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
21			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	●	●										●				
22	アビ目	アビ科	オオハム類	<i>Gavia sp.</i>									●							
23	カツオドリ目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
24	ペリカン目	サギ科	ササゴイ	<i>Butorides striata</i>		●														
25			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	●	●	●												VU	
26			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
27			ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea</i>									●							
28			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	●	●	●			●	●	●	●							
29			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	●	●	●			●									NT	
30			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>						●	●	●		●	●	●				
31			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>				●											NT	
32			トキ科		ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>								●		●			DD	
33					クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>									●					EN
34	ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	●							●		●	●			NT		
35			ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	●	●									●			NT		
36			バン	<i>Gallinula chloropus</i>		●							●	●						
37			オオバン	<i>Fulica atra</i>									●	●	●	●				
38	カッコウ目	カッコウ科	ホトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>		●														
39			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>		●													NT	

添付資料 4 2015 年度に南港野鳥園で観察した全鳥種リストおよび重要種の選定基準 (続き)

40	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>		●																	
41	チドリ目	チドリ科	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>		●												●	DD	NT			
42			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	●	●			●		●										VU		
43			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	●																	VU	
44			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	●	●	●	●	●	●	●											NT	
45			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	●	●	●	●	●											●	VU	VU	
46			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	●	●					●											VU	
47			オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	●	●																NT	
48			セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>					●	●	●										VU	
49		シギ科	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>																●		NT	
50			オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>																	●		
51			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	●					●	●	●											NT
52			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	●	●																●	VU
53			チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	●	●																	NT
54			ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	●		●																VU
55			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	●							●	●										VU
56	アカアシシギ		<i>Tringa totanus</i>		●				●	●	●	●			●	●	●					VU	
57	コアオアシシギ		<i>Tringa stagnatilis</i>						●	●	●											NT	
58	アオアシシギ		<i>Tringa nebularia</i>	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●					VU	
59	タカブシギ		<i>Tringa glareola</i>																	●		VU	
60	キアシシギ		<i>Heteroscelus brevipes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●											NT	
61	ソリハシシギ		<i>Xenus cinereus</i>	●	●		●	●	●	●												VU	
62	イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>	●	●		●	●	●	●					●	●	●					NT	
63	キョウジョシギ		<i>Arenaria interpres</i>	●	●		●	●														VU	
64	オバシギ		<i>Calidris tenuirostris</i>	●	●				●													VU	
65	コオバシギ		<i>Calidris canutus</i>						●		●											NT	
66	トウネン		<i>Calidris ruficollis</i>	●	●		●	●	●	●												NT	
67	アメリカウズラシギ		<i>Calidris melanotos</i>		●																		
68	ウズラシギ		<i>Calidris acuminata</i>	●	●																	VU	
69	サルハマシギ		<i>Calidris ferruginea</i>	●	●				●													NT	
70	ハマシギ		<i>Calidris alpina</i>	●	●				●	●	●	●	●						●			NT	
71	キリアイ		<i>Limicola falcinellus</i>								●											NT	
72	エリマキシギ		<i>Philomachus pugnax</i>						●	●	●	●										NT	
73	カモメ科		ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	●	●									●	●	●	●					
74		ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>				●		●	●	●												
75		カモメ	<i>Larus canus</i>	●											●	●	●	●					
76		セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●					
77		オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>		●										●								
78		コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	●	●	●	●														国際	VU	CR+EN
79		アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>		●																		



添付資料 4 2015 年度に南港野鳥園で観察した全鳥種リストおよび重要種の選定基準 (続き)

119	スズメ目	ヒタキ科	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>		●														
120			トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	●															NT
121			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	●							●								
122			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>								●								
123			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	●							●	●	●	●	●	●			
124			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	●	●														
125			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	●							●	●	●	●	●				
126			コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	●	●														
127			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	●						●									
128			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>								●	●	●	●	●	●			
129			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>	●							●								
130			インヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	●	●			●	●		●	●							
131			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>		●					●	●								
132			サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>		●						●								
133			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	●	●			●	●	●									VU
134			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	●	●			●	●	●									
135			ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>		●						●	●							
136	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	●	●					●	●										
137	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
138	セキレイ科	ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava</i>							●										
139		キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>							●	●									
140		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
141		ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	●							●	●								
142		タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>	●								●	●	●	●					
143		アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	●	●						●								
144	カワラヒワ		<i>Chloris sinica</i>	●	●			●			●	●	●	●	●					
145	ベニマシコ		<i>Uragus sibiricus</i>									●	●							
146	イカル		<i>Eophona personata</i>	●																
147	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								●	●								
148		ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>									●						NT		
149		カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	●							●					●		NT		
150		ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>								●	●	●					NT		
151		ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	●														NT		
152		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	●								●	●	●	●	●				
153		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	●																
154		オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	●								●	●	●	●	●	●		NT	
計	16目	42科	154種	93種	68種	27種	27種	50種	54種	72種	69種	58種	51種	51種	54種	3種	25種	50種		

【重要種選定基準】

- ・保存法:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年) 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種
- ・大阪府 RL:「大阪府レッドリスト 2014、1 野生動植物」(大阪府, 2014 年)

・環境省 RDB:「レッドデータブック 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 2 鳥類」(環境省編 2014 年)

EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類  
NT:準絶滅危惧 LP:絶滅のおそれのある地域個体群 DD:情報不足